

EBPM(Evidence-Based Policy Making～データに基づく政策立案～)の最前線！

「地方創生☆RESAS 地域セミナー2016(沖縄地区)」開催

【日時】平成28年10月24日(月) 13:00～15:00(第1部) / 15:10～16:30(第2部)

【会場】那覇第2 地方合同庁舎 1号館 2階大会議室

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局及び内閣府 地方創生推進室は、平成28年10月に、全国10地域で「地方創生☆RESAS 地域セミナー2016」を開催します。本セミナーは、広く一般の方にも「地域経済分析システム(RESAS:リーサス)」を理解し、活用していただくために行うもので、沖縄地区では10月24日(月)に沖縄県那覇市にて開催します。

第1部では、「地方創生拠点整備交付金」等の政府支援策についてのポイント解説のほか、9月に追加・更新されたRESASの最新データ及びRESASの普及に関する取組、また福岡県うきは市における計画策定や日常業務の中でのRESASの活用、および広く庁内や市内に啓発・普及を行うための取組など、地方創生やRESASの最新情報をご紹介します。第2部では、RESASにデータを提供していただいている複数の企業(データホルダー)の皆様に、RESAS搭載データの活用方法や、独自データについてご紹介させていただきます。

ぜひこの機会に会場までお越しいただき、RESASをはじめとするデータ(証拠)に基づく政策立案(Evidence-Based Policy Making)の最前線をご覧いただければ幸いです。

セミナー概要

【日時】平成28年10月24日(月) 13:00～15:00(第1部) / 15:10～16:30(第2部)

【場所/定員】那覇第2地方合同庁舎1号館 2階大会議室(定員130名)

【内容】

第1部 地方創生とRESASの最新情報の紹介

13:00～13:30 地方創生に関する情報提供(内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局)

13:30～14:30 RESAS追加データ及びRESASの普及に関する取組について(内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局)

14:30～15:00 地域におけるRESASの利活用事例について「RESASを活用した政策立案と、啓発・普及～福岡県うきは市の取組み～」(福岡県 うきは市)

第2部 データホルダーよりRESASの搭載データの活用方法や、その他データホルダーが有する独自データを紹介

15:10～16:30 データホルダーによるブースセッション

(参加社:(株)価値総合研究所、(株)帝国データバンク、(株)NTTドコモ・(株)ドコモ・インサイトマーケティング)

※参加社は変更となる可能性がございます。

【申込方法】

公式サイト(<http://resas-portal.go.jp/>)からお申込みください(参加費無料)。

※先着順で定員に達し次第、受付終了。

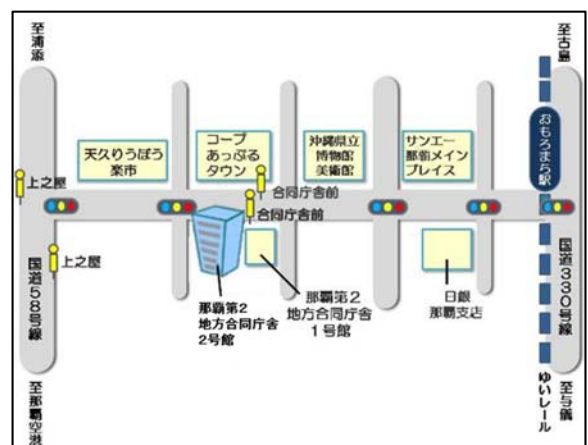
自治体職員については、1自治体につき、2名までのお申込み。

【会場のご案内】

那覇第2 地方合同庁舎 1号館 2階大会議室

(沖縄県那覇市おもろまち2丁目1-1)

●那覇市新都心 コープあつぷるのタウン向かい



地域経済分析システム(RESAS:リーサス)とは

RESAS は、地方創生の実現に向けて、内閣官房(まち・ひと・しごと創生本部事務局)が、地方自治体に関する様々なビッグデータを収集し、わかりやすく「見える化」したシステムです。各都道府県・市区町村が、経験や勘ではなく、客観的なデータに基づいて自らの地域の現状と課題を把握し、それを踏まえた政策立案等を行えるよう、平成 27 年 4 月 21 日から提供を開始しました。その英語表記(Regional Economy (and) Society Analyzing System)の頭文字を取って、“RESAS”(リーサス)と呼んでいます。

RESAS は、「産業マップ」「観光マップ」「農林水産業マップ」等の7つのマップで構成されています。官民間問わず様々なデータをわかりやすく「見える化」するだけでなく、全国平均や他の自治体と比較した自らの自治体の位置付けを確認することができるほか、近隣の自治体のデータと合算することで、広域的な視点で政策を検討することもできます。RESAS に搭載された客観的なデータを活用すれば、政策立案の際に数値目標を設定し、実行後も目標の達成度合いを確認し、それに応じた改善を行うという、いわゆる「PDCA サイクル」を加速化することも期待できます。なお、本システムで提供するデータは、一部のデータを除いて、一般の方でもWEB上で見ていただくことができます。どなたでも使える、わかりやすい画面操作により、自治体職員のみならず、地域住民による地方創生も促進します。

RESAS は、今後も地方創生に役立つデータを追加・更新し、官民のビッグデータのプラットフォームとして進化・発展を続けていきます。

※詳細については、RESAS の情報発信サイト「RESAS ポータル」及びまち・ひと・しごと創生本部サイトをご覧ください。

「RESAS ポータル」<http://resas-portal.go.jp/>

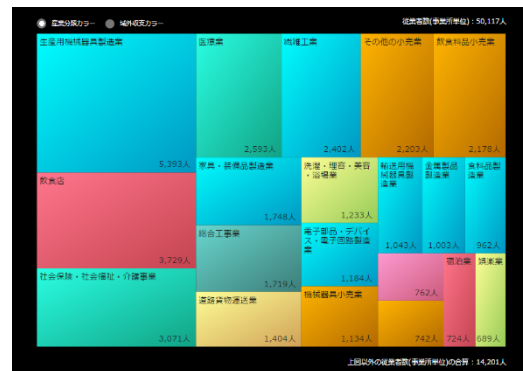
「まち・ひと・しごと創生本部サイト」<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/resas/>

【RESAS の構成】

RESAS は、「産業マップ」「地域経済循環マップ」「農林水産業マップ」「観光マップ」「人口マップ」「消費マップ」「自治体比較マップ」の7つのマップで構成されています。その一部について、以下で紹介します。

■産業マップ

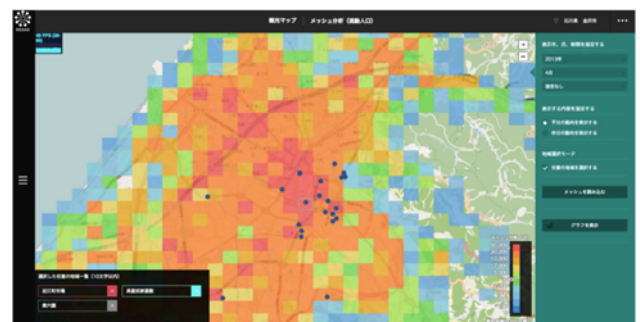
自地域の経済を支える主要産業や域外からお金を稼ぐ産業、付加価値を多く生み出す産業の特定のほか、地域の所得水準の分析や地域における特許の集積状況、事業所の立地状況の推移等を把握できるデータを揃えています。また、地域経済を支えている「地域中核企業候補」を抽出することもできます(自治体のみ利用可能な「限定メニュー」)。都道府県・市区町村が地域経済産業政策を立てたり、複数自治体間で政策連携をしたりする際に役立てていただけます。



【石川県小松市の産業ごとの従業者数(事業所数)の割合(2014年)】
都道府県・市区町村単位で、企業数、従業者数、売上高、付加価値額等の産業別の割合を四角の大きさで表現。

■観光マップ

携帯電話の位置情報等を利用して、観光に関する人やお金の動きを「見える化」したものです。これを分析することで、例えば、観光客を周辺地域にもうまく周遊させるにはどのような観光パンフレットを作成すればよいかなど、具体的な観光戦略を立案する際に役立てることができます。さらに、選択した任意の範囲内での人の集積度合いの、月ごとや時間帯ごとの変化を把握することもできます。これにより、ある観光資源の周辺地域は、どの時期に訪れる人が多く、また、どの時期に訪れる人が少ないかといったことが把握でき、訪れる人が少ない時期にどう人を呼び込むかといった、ポイントを絞った観光戦略を立案することが可能となります。

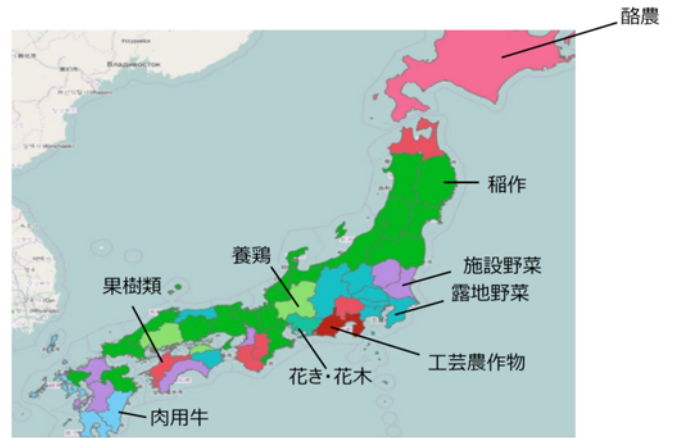


【金沢市内に滞在している人口の集積度合い】
ある時間帯における金沢市内の人の集積度合いをメッシュで表したものの。点は観光資源。

■農林水産業マップ

都道府県・市区町村・旧市区町村単位で、農業 16 部門の販売金額や、農地の利活用状況、年間延べ農作業日数、農業経営者の年齢構成、林業経営体の総収入、海面漁業経営体の漁獲物販売金額等のデータの確認が可能です。

これにより、広域な視点での農業振興策の検討や、農業経営者への効率的かつ効果的な経営支援等が可能になるほか、農地の有効活用策の検討や新規就農者の受け入れなどの検討に役立てることができます。



各自治体で販売金額の多い農業部門を地図上で表示したもの

■自治体比較マップ

様々な指標について、自らの自治体と他の自治体とを比較することができます。一対一の比較だけでなく、全自治体のランキングの中で自らの自治体の位置付けも把握することもできます。これにより自治体は、施策の目標設定や PDCA サイクルによる施策の管理を行いやすくなります。

また、自らの自治体の強み・弱みを把握することで、どの分野を今後強化していくべきかがわかるようになります。

例えば、起業・創業の活発度合いを示す「創業比率」の推移を、全国平均や他の自治体と比較することができます。さらに自らの自治体の創業比率は全国第何位なのかも把握できます。また、ランキング上位の自治体がどこかも把握できるので、それらの自治体がどのような創業施策を講じているかを調べて参考にすることができます。



【福岡市の創業比率の推移(2001年～2012年)】
起業・創業の活発度合いを示す「創業比率」の推移を、全国平均や他の自治体と比較

《内容に関するお問い合わせ先》

地方創生☆RESAS 地域セミナー2016 事務局

TEL:03-5817-3302